

令和6年度地震・津波防災訓練 (北海道豊浦町・内閣府)

実施報告書 (概要版)

北海道豊浦町について

(とようらちょう)

北海道豊浦町は、北海道の南西部に位置し、南側は海に面し、北側は山林地帯となっている。面積は約233.57平方キロメートルで、令和6年9月30日時点の人口は3,526人である。

昆布岳や西昆布岳などの山々に囲まれ、内浦湾に面した美しい海岸線を有している。亜寒帯湿潤気候に属し、冬は積雪量が多く、特別豪雪地帯に指定されている。

農業と水産業が基盤であり、特にイチゴやジャガイモ、水稻、アサツキの生産が盛んで、豚肉の生産量は北海道内でトップクラス、また、ホタテの養殖も盛んで、町の全漁獲量の約8割を占めている。

豊浦町は地震の影響を受けやすい地域であり、特に日本海溝や千島海溝沿いの巨大地震が懸念されており、津波のリスクも高い。近隣の有珠山の火山活動も注意が必要で、噴火時には火山灰や火砕流の影響が考えられる。

また、特別豪雪地帯に指定されており、冬季には大雪による交通障害や停電のリスクがある。

町の地域防災計画では、災害時の応急対策や復旧計画が整備されており、町内各地に避難所が設置され、災害時には迅速に避難できるよう準備がされているほか、町の公式ウェブサイトや防災アプリを通じて気象情報や災害情報を提供している。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：令和6年10月4日（金）午前9時00分、日本海溝モデル地域、浦河沖を震源とする、マグニチュード9.1の地震が発生し、最大震度6弱を観測、大津波警報が発表されるという想定のもと訓練を実施した。
- 実施日時：

【訓練実施前WS】	令和6年9月13日（金）14:00～16:30
【地震・津波防災訓練】	令和6年10月4日（金）9:00～16:30
【訓練実施後WS】	令和6年10月4日（金）10:30～12:00
- 主催：北海道豊浦町、内閣府
- 参加者数：137名
- 参加機関：訓練対象地区の自治会、北海道胆振総合振興局、北海道警察札幌方面伊達警察署、西胆振行政事務組合伊達消防署豊浦支署、豊浦消防団 等
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所開設・運営訓練、職員による災害対策本部設置訓練
- 訓練特色：本町地区、大岸地区、礼文華地区の3ヶ所で並行して実施。併せて、職員による災害対策本部立上げの訓練も実施した。

訓練の成果

【成果】

- 訓練前ワークショップで、豊浦町の災害の歴史・寒冷地や豊浦町ならではの避難特性等についての講演、防災学習ツールを用いた津波避難シミュレーションゲーム、北海道庁実施事業「耐震改修促進関係講座」での住宅の耐震性の講演により、災害や防災についての理解を深め、災害を自分事として捉える意識が醸成された。
- 地震・津波避難訓練では、第一波到達予想時間68分までに参加者全員の避難が完了することができ、日頃の町民の防災意識の高さをうかがえた。
- 訓練後に3ヶ所の地区ごとに避難時の課題を話し合うことで、それぞれの地区ごとに現状についての理解を深め、課題の整理を行うことができた。
- 職員による災害対策本部立上げ訓練を実施し、災害対策本部の設置基準や目的の確認、求められる作業を体得し、災害時に備える心構えを持つことができた。

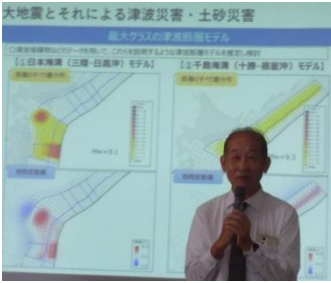
【課題】

- 津波避難時の路面凍結、雪による避難の支障、低体温症のリスクなど、寒冷地ならではの対策を考える必要がある。
- 避難先、避難手段、避難ルートについて、それぞれの意識や整備状況もバラバラであるため整備が必要である。
- 訓練の参加者が一部の人であったため、より多くの人に参加し、災害時の避難行動について体験し、防災について考える契機とすることが望まれる。

9月13日(金) 14:00～16:30 訓練実施前ワークショップ

- ・防災アドバイザー（谷岡勇市郎北海道大学大学院特任教授）が「豊浦町での防災について大事なこと」と題し豊浦町の災害の歴史、寒冷地や豊浦町ならではの避難の仕方等について講演を行った。
- ・防災学習ツールを用いた津波避難シミュレーションゲームを実施した。
- ・北海道庁実施事業「耐震改修促進関係講座」により、住宅の耐震性についての講演を行った。

▼防災アドバイザー講演



▼シミュレーションゲーム実施の様子



10月4日(金) 9:00～10:15 地震・津波防災訓練

- ・午前9時に巨大地震が発生し、巨大津波が襲来する想定の下、本町、大岸、礼文華地区の各地区内でシェイクアウト訓練、津波避難訓練及び避難所開設・運営訓練等を行った。
- ・本町地区では、備蓄品展示を行い、住民が備蓄品の組み立てや利用などを通じ、避難所について学ぶ機会となった。
- ・町の課長職以上の職員により、災害対策本部立上げ訓練を行い、災害対策本部の仕組みの理解を図った。

▼津波避難訓練



▼備蓄品展示



▼災害対策本部立上げ訓練



10月4日(金) 10:30～12:00 訓練実施後ワークショップ

- ・避難訓練を終えて、改めて取り組むべき地区防災活動について、アドバイザーから講演を行った。
- ・本町、大岸、礼文華地区の各地区ごとに訓練を振り返り、気づいたことやこれからの防災活動について意見交換を行った。

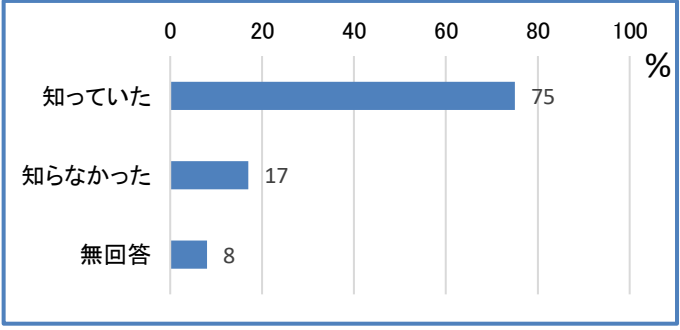
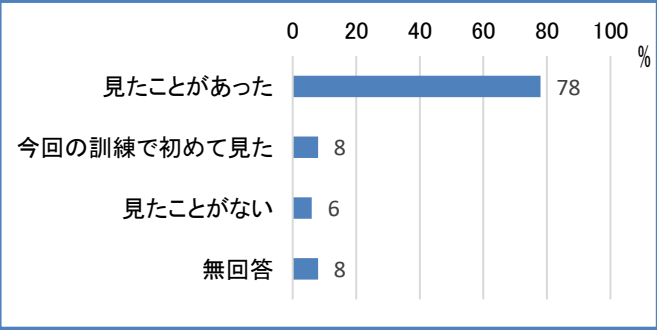
▼意見交換



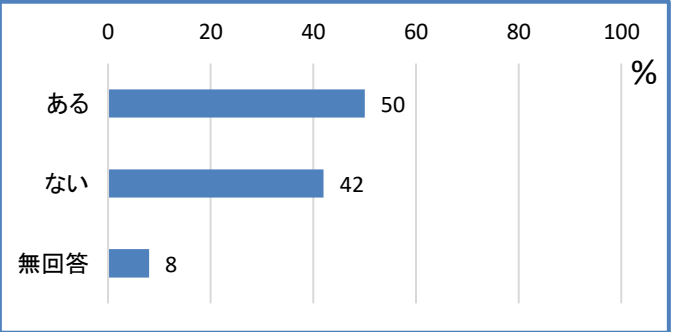
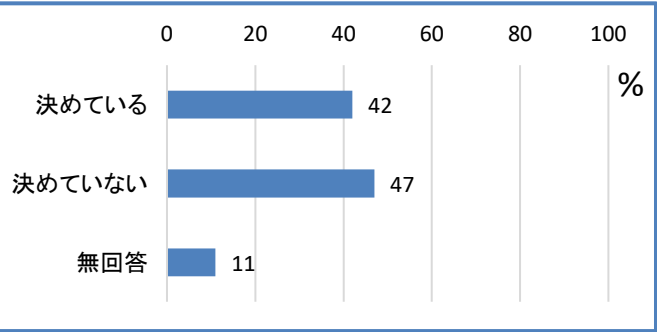
アンケート結果

住民の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するためアンケート調査を実施した。

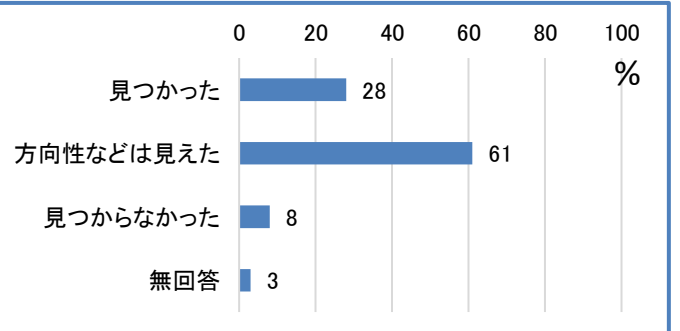
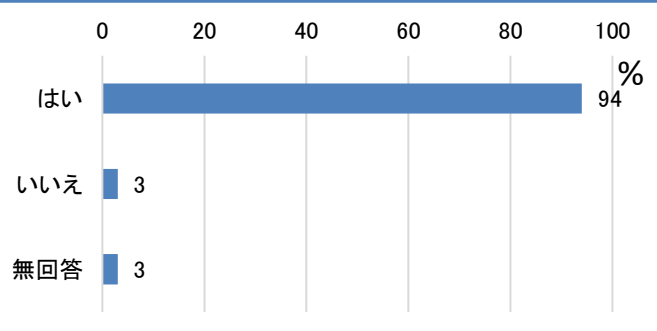
1. 町で作成している「津波ハザードマップ」を見たことがありますか。
2. 津波に対する避難先や避難経路を知っていましたか？



3. 災害時に家族同士でどのように連絡を取り合うかを家族の中で決めていますか。
4. 自治会や隣近所で災害時の避難について話あったことはありますか。



5. 今回のワークショップを通じて訓練などの必要性の意識は高まりましたか？
6. 今回のワークショップを通じて、津波からの避難時における問題点の解決策や方向性は見つかりましたか？



7. 今後、地域独自の防災訓練を実施する場合、町からどのような支援があると良いですか。(複数回答可)
(訓練前)
7. 今後、地域独自の防災訓練を実施する場合、町からどのような支援があると良いですか。(複数回答可)
(訓練後)

